

軽微な変更の確認方法について

軽微な変更の取得方法 (1)

1

入力支援ツール (平成29年省エネ基準適用 Ver 3.4.1 (2017.04))

この画面の入力は禁止されました。

- 「モデル建築物性能評価ツール」は、「モデル建築物入力支援ツール」に統合されました。
- 複数の用途が混在する非住宅建築物について、各建物用途の入力シート(Excel形式のみ、CSV不可。)をアップロードすることで建物全体の評価結果を算出することができます。

入力シートの不具合を修正しました

2023年4月3日に公開したモデル建築物入力シートに不具合がありました。
修正版 (2023年4月17日公開) をご使用ください。

修正前ファイル名 MODEL_InputSheet_for_Ver3.4.xlsx
修正後ファイル名 MODEL_InputSheet_for_Ver3.4_20230417.xlsx

修正版サンプルも修正されています。

ファイルアップロード

ここに入力シート (ExcelまたはCSV) をドラッグ&ドロップしてください。
ここをクリックして、ファイルを選択することもできます。

既存部分の外壁や設備仕様の入力を省略する(複数の用途が混在する非住宅建築物のみ)

モデル建築物法入力画面

3

設備

あり

BPI _m ≤ 1.00		達成
BEI _m ≤ 1.00		達成
誘導BEI _m > 0.60		非達成

戻る 様式出力 軽微変更確認データのコピー

計算結果 (下部)

2

入力支援ツール (平成29年省エネ基準適用 Ver 3.4.1 (2017.04))

この画面の入力は禁止されました。

- 「モデル建築物性能評価ツール」は、「モデル建築物入力支援ツール」に統合されました。
- 複数の用途が混在する非住宅建築物について、各建物用途の入力シート(Excel形式のみ、CSV不可。)をアップロードすることで建物全体の評価結果を算出することができます。

入力シートの不具合を修正しました

2023年4月3日に公開したモデル建築物入力シートに不具合がありました。
修正版 (2023年4月17日公開) をご使用ください。

修正前ファイル名 MODEL_InputSheet_for_Ver3.4.xlsx
修正後ファイル名 MODEL_InputSheet_for_Ver3.4_20230417.xlsx

修正版サンプルも修正されています。

計算結果及び評価結果

(1) 建築物の名称	サンプル建物
(2) 延床積	10,000.00
(3) 省エネ基準区分/年間目標達成率	085% / A32%
(4) モデル建物	事務所モデル
(5) 評価結果	
年間熱負荷係数 [BPI _m]	0.96
一次エネルギー消費量 [DEC _m]	0.99
一次エネルギー消費量 [標準DEC _m]	0.99
空調設備効率 [BEI _m /AC]	1.01
照明設備効率 [BEI _m /V]	0.70
照明設備 [BEI _m /L]	0.91
換気設備 [BEI _m /HW]	1.38
断熱 [BEI _m /EV]	2.00
土間床断熱	あり
コーティングレーション設備	あり
(6) 判定	
BPI _m ≤ 1.00	達成
BEI _m ≤ 1.00	達成
誘導BEI _m > 0.60	非達成

戻る 様式出力 軽微変更確認データのコピー

計算結果

軽微な変更の取得方法（2）

3

あり	
BPIm ≤ 1.00	送
BEIm ≤ 1.00	送
誘導BEIm > 0.60	非

戻る 様式出力 軽微変更確認データのコピー

貼りつける

赤字：変更後
緑字：変更前

4

区分	NO.	モデル建物法の入力項目	変更後	変更前	※ 変更の有無
バージョン					
基本情報	C1	建物名称			-
	C2	省エネルギー基準地域区分			-
	C3	計算対象建物用途			-
	C4	計算対象室用途（集会所等のみ）			-
	C5	計算対象面積			-
外皮	建物形状	PAL1	階数		-
		PAL2	各階の階高の合計		-
		PAL3	建物の外周長さ		-
		PAL4	非空調コア部の外周長さ+D146		-
		PAL5	非空調コア部の方位		-
外壁性能	PAL6	外壁面積-北			-
	PAL7	外壁面積-東			-
	PAL8	外壁面積-南			-
	PAL9	外壁面積-西			-
	PAL10	屋根面積			-

軽微な変更用の確認シートの入手方法

非住宅建築物に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム

非住宅建築物に関する省エネルギー基準に準拠したプログラムTOP

サポートお問い合わせ

プログラム・入力補助ツール

計算プログラムを使う

エネルギー消費量の計算プログラム(非住宅版)

標準入力法

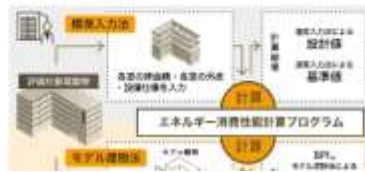
エネルギー消費量の計算プログラム(非住宅版)

モデル建物法

エネルギー消費量の計算プログラム(非住宅版)

小規模版モデル建物法

最新バージョンのプログラムは関係6か月間は、旧バージョンのプログラムも併用して公開します。



エネルギー消費量の計算プログラム(非住宅版)には、「標準入力法」「モデル建物法」「小規模版モデル建物法」の3種類のプログラムがあります。いずれのプログラムも同じ計算方法仕様を使っていますが、「モデル建物法」および「小規模版モデル建物法」のプログラムは、前提条件(モデル)が定められている。「標準入力法」にはべ入力できる項目が少なくっており、かつ、前提条件が存在します。

プログラム・入力補助ツール

標準入力法	標準入力法	標準入力法の入力マニュアル	900,000円
	マニュアル	非住宅建築物の構造による性能向上型設計に係る入力マニュアル	900,000円
	Excelシート	非点・点型住宅入力シート	900,000円
	マニュアル	非住宅モデル(標準入力法)	900,000円
	マニュアル	非住宅標準(標準入力法)	900,000円
モデル建物法	マニュアル	モデル建物法入力マニュアル	900,000円
	Excelシート	モデル建物法入力シート	900,000円
	マニュアル	非住宅モデル(モデル建物法)	900,000円
小規模版モデル建物法	マニュアル	小規模版モデル建物法入力マニュアル	900,000円
ツール	Excelシート	日よけ効果非点型シート Ver.3.4.0	900,000円
	Excelシート	標準入力法内下の設計情報入力ツール	900,000円



ここからダウンロード

ページ (下部)

軽微な変更用の確認シートの説明

区分	NO.	モデル建物法の入力項目	変更後	変更前	※ 変更の有無
バージョン					
基本情報	C1	建物名称			-
	C2	省エネルギー基準地域区分			-
	C3	計算対象建物用途			-
	C4	計算対象空用途（集会所等のみ）			-
	C5	計算対象面積			-
外皮	建物形状	PAL1	階数		-
		PAL2	各階の階高の合計		-
		PAL3	建物の外周長さ		-
		PAL4	非空調コア部の外周長さ+D146		-
		PAL5	非空調コア部の方位		-
	外壁性能	PAL6	外壁面積-北		-
		PAL7	外壁面積-東		-
		PAL8	外壁面積-南		-
		PAL9	外壁面積-西		-
		PAL10	屋根面積		-
		PAL11	外気に接する床の面積		-
		PAL12	外壁の平均熱貫流率		-
		PAL13	屋根の平均熱貫流率		-
		PAL14	外気に接する床の平均熱貫流率		-
窓性能	PAL15	窓面積-外壁面(北)		-	
	PAL16	窓面積-外壁面(東)		-	
	PAL17	窓面積-外壁面(南)		-	
	PAL18	窓面積-外壁面(西)		-	
	PAL19	窓面積-屋根面		-	
	PAL20	外壁面に設置される窓の平均熱貫流率		-	

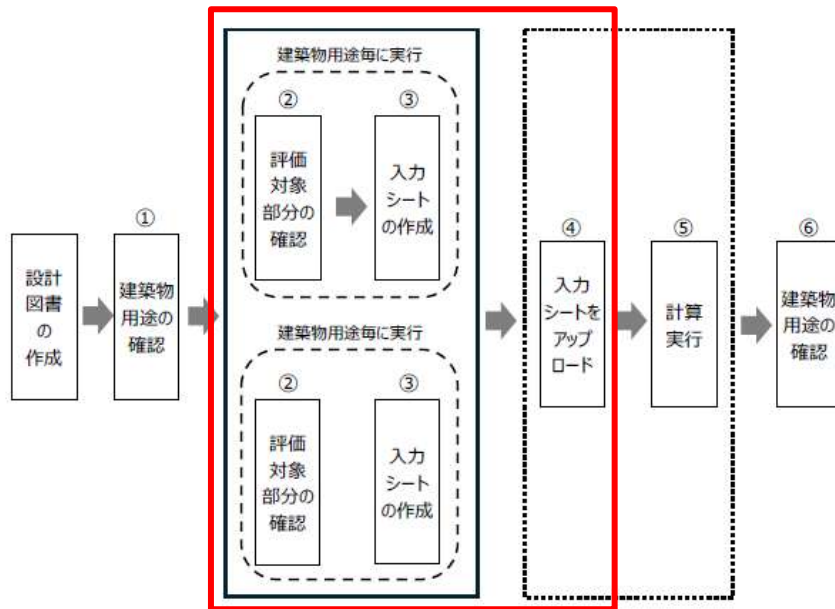


変更後の
 軽微な変更用
 パラメータ
 (貼りつける)

変更前の
 軽微な変更用
 パラメータ
 (貼りつける)

複数用途建築物における軽微な変更の取扱い

- ・ 複数用途建築物では、有する用途の数だけ建物モデルを作成し、複数用途集計機能で計算を実施します。



複数用途建築物では用途毎に計算モデル（入力シート）を作成し、WEBプログラムにまとめてアップロードすることで計算を実施。

入力シート モデル建物法



- ・ 軽微な変更においても、モデル毎に軽微な変更への適否を確認する必要があります。

大規模非住宅建築物の基準引上げに係る軽微な変更の取扱い

- 2024年4月以降に省エネ基準適合性判定申請を行う大規模非住宅建築物（2,000㎡以上）の基準が、用途に応じて次のとおり引き上げられました。

用途	引上げ前の省エネ基準[BEI]	現行省エネ基準[BEI]
工場等	1.0	0.75
事務所等、学校等、ホテル等、百貨店等	1.0	0.80
病院等、飲食店等、集会所等	1.0	0.85

- 軽微な変更ルートBの適用の前提として、軽微な変更における変更前の建築物全体のBEI・BEImの値が、基準BEIの10%以下であることが必要です。

大規模非住宅建築物の場合も同様で、次のように考えます。

(例) 基準BEI=0.75の場合： $0.75 \times 0.9 = 0.675 \rightarrow \underline{0.67}$ 以下であることが必要